

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.4.30

No. 11



提出物×切厳守・・・出来なさ過ぎ！！

4月15日×切厳守のはずの進路希望調査が未だに全員集まっています。しかもまだ未提出者が何人かいるようです。係としても色々な集計が出来なくて困っています。ハローワークにも連休明け報告しなくてはなりません。各担任の先生方からは再三注意されているはずなのに、一体何とということでしょうか。

進路に関わる調査は外部に報告するものが少なくありません。校内だけの問題ではなく、外部に出さなくてはならないものは提出期限を厳守しなくてはなりません。皆さん達は進路に対しては今もっと真剣に捉えなくてはならない時期のはずです。どうして2週間前に締め切られた書類が未だに出せないのでしょうか。

昨年、一次試験で不合格になった生徒達が二次試験以降に応募する際、中々履歴書が出て来ず、せっかくの機会を他校生に奪われてしまった例が幾つかありました。世の中は皆さん自身を中心に動いているわけではありません。

そもそも進路希望調査の提出期限が守られずいつまでも出せないなどというのは、自分の進路に対して真剣味が足りない現れでしょう。これでは今年の進路も先が思いやられます。このような生徒は学校は恥ずかしくて外部に推薦など出来ません。今年の就職戦線も決して楽ではありませんよ！未提出者は至急出してください。

魅力ある街造り 小布施町



長野市の北側に小布施町があります。皆さんの中にもこの町に行ったことがある人がいるかもしれません。今日本全国から注目されている町の一つです。30年くらい前に私が小布施のすぐ隣の中野市の高校に在職中は、まだごく普通の小さな田舎町でした。ところがちょうどその頃より北斎館と栗菓子を中心に積極的に街づくりが行われ、今では日本全国から観光客を呼び寄せる街に変わりました。これまで私も何回か行ったことがあります。行くたびに街の様子が変わっています。そこは非常に落ち着いた、日本の心象風景を現実化したような風情を感じさせる街に日々変わり、益々洗練化されてきています。

木曾の馬籠や妻籠の様に、小布施町はもともとあった古い街並みを残している分けではありません。一部を残しつつも全く新しいものをそこにつくり出しているのですが、とってつけたようなテーマパーク風のものでもなく、街全体が統一した視点でそこに住む人々の生活を大事にしつつ新たに形作られているのです。

今日本全国で地方の過疎化が問題となっています。そんな中で小布施町はもともとは一部の人の発案から町全体に広がる街づくりが志向され、わずか30年あまりの間にそこを訪れた人はもう一度そこへ行ってみたいくなるような、魅力を秘めた活気あふれる街に生まれ変わりました。

私達にとってもそれぞれの住んでいる街に誇りと愛着を持ち、住みやすい街にするためにも自分の住む地域をどう盛り立てていくかは今後益々重要な課題です。それは政治任せではなく、皆で知恵を出し合いながら地域造りをどうするか少し関心を持つことが大切でしょう。(興味のある人はゴールデンウィーク中に小布施まで出かけてみるのもいいかもしれません)。